

# 若葉のふるさと協力隊を実施しました!

若葉のふるさと協力隊とは、4泊5日の短期農山村ボランティアプログラムです。

緑のふるさと協力隊が企画し9月17日(日)から9月21日(木)に開催しました。

大阪からの参加者1名と5日間で様々な体験、地域の方々との交流を行いました。

1日目	町内案内、オリエンテーション、太鼓サークル参加
2日目	金比羅山散策、牛・山見学、稲刈り、交流会
3日目	炭焼き、交流会、BBQ(ひらめの塩焼き体験)
4日目	白賀溪谷散策、こんにゃく作り、ひらめ養殖池見学、活動報告会
5日目	人形峠環境技術センター見学



2日目



4日目



3日目



5日目

若葉のふるさと協力隊や緑のふるさと協力隊の詳細はこちら  
<http://www.n-gec.org/activities/furusato.html>

## ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

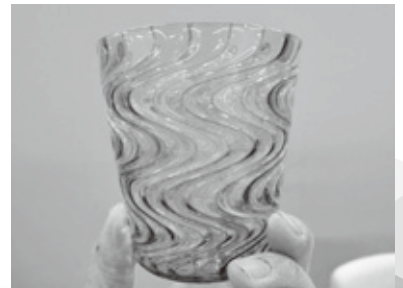
9月下旬にガラス作家 加倉井秀昭さんが作品制作のため来館されました。加倉井さんは今年4月にガラス美術館で展覧会を開催していただいた作家で、今回はガラス美術館で販売するウランガラス作品の制作で来館していただきました。

加倉井さんは色ガラス棒を使う吹きガラス技法「ケインワーク」で作品制作をされています。ケインワークは作家によって様々な色ガラス棒の使い方があるのですが、今回は加倉井さんが普段制作されている「refrain(ルフラン)」シリーズをウランガラスに置き換えて作っていただきました。ウランガラスと他の色を組み合わせたガラス棒を使った作品は一見すると普通の色ガラスに見えますが、紫外線を当てると蛍光色の緑色に光ります。中には光り方が通常と異なる作品もあり、新しい方向性のヒントになるように感じました。今後の展開に活かしていきたいと考えています。

作品は10月下旬頃より1階アートショップにて展示販売を開始しています。ウランガラスの新たな可能性が垣間見える作品をぜひご覧ください。



加倉井さんは3回目の来館、制作です。



加倉井さんの作品「refrain(ルフラン)」

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888